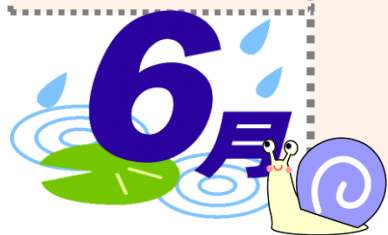


学校だより



中条っ子

校訓 「心身ともに健康」

令和8年6月
第3号
津幡町立中条小学校
TEL289-2206

学校長 泉 和宏

「今じゃなければできないこともある」

今、世の中は不確実性が高まりつつあると言われています。例えば少子化、高齢化、グローバル情勢の混迷、生成 AI 等のデジタル技術の発展等です。子供たちが社会に出て活躍する2040年代は、激しい変化が止まることがない時代ともいわれています。その時代を子供たちは生きなければなりません。労働市場では今以上に流動性が高まり、自らの人生を切り取りする力を身に付けることが重要となっています。また、子供たちが社会に出れば、国際的な能力をもったグローバル人材をはじめとして多様な他者との対話によって問題を発見したり、解決したりできるような社会の創り手となることを求められています。

したがってこれからは、自立した「たくましさ」と「しなやかさ」を併せ持つ人間が求められています。環境がどのように変わっても「学び続ける力」、いろんな人との「コミュニケーションする力」が求められています。どうしたら「たくましさ」や「しなやかさ」が育つのでしょうか。

キーワードとして「体験・経験」が大切ということが言われています。それも、成功体験（経験）だけではなく、大事なものは失敗体験（経験）とも言われています。多くの方が語っているように失敗体験（経験）から、成功体験（経験）より何倍も多くのことを学ぶことができます。失敗体験（経験）は、後々その子にとって大きな財産となっていきます。では、私たち大人の役割は何でしょうか。子どもの目の前にある困難やピンチを取り除くことでしょうか。

それは、子どもが困難やピンチを乗り越えようとする時に、離れずに目をそらさずしっかり子どもを「見る」・「観る」ことだと思います。そして、アドバイスや支援を行い、子どもが自ら困難やピンチを乗り越えるお手伝いをする事だと思います。そして、子どもが失敗した時が大人の一番の出番であり、子どもにその原因を考えさせたり、次に生かせるように前を向かせたりすることではないでしょうか。子どもがこの体験（経験）を繰り返していくことで、その心の中に「たくましさ」や「しなやかさ」が育っていくものだと思います。

学校は今も昔もいろんな体験（経験）ができる場です。学力だけでなく、「非認知能力」をつけることができると言われています。「非認知能力」は、幼児から小中学校で付けることができる力で数字で表せない力とも言われています。学校での経験を通して今の自分を乗り越える知識や技能を身に付けます。そのためにはエネルギーと少しの勇気が必要です。子供たちの成長を軸に今後も保護者の皆様と学校とが連携し、大人としてどう関われば子供たちに自立した力をつけていけるのか探っていきたいと思います。

かけがえのない命を守るために

学校では、年度始めの4月5月に子供たちの安全を守るため、交通安全教室等の実施や安全意識を高めるための訓練等を年間計画に基づいて行ってきました。20日には「火災の避難訓練」、22日にはPTA4名の方も参加して「救命救急講習会」を実施しました。30日の授業参観の後には、「引き渡し訓練」を予定しています。なお、引き渡しについては、能登半島地震の時の震度5以上の大きな地震が起こっ

た場合には、通常は学校からテトル等を通じて引き渡しを行うのですが、通信が遮断されることも想定されますので、学校から連絡がなくても引き渡しが行われると判断してください。

災害は、いつ・どこで・どんな状況下で発生するか分かりません。登下校の途中、学校で、自宅で、外出先でなど、場所はもちろん、家族や先生と一緒にかもしれませんし一人かもしれません。どんな状況下であっても、自分の身を守る安全な行動をとることが大切です。ぜひご家庭でも、様々な機会を捉えて「命の大切さ」「友達への思いやり」や「自分の命は自分で守る」ということについて話をしていただき、自分の命も周りの人の命も大切にしてほしいと思います。なお、6月23日に「防犯訓練」として教職員の研修も予定しており、緊急時に適切な処置や対応ができるよう努めていきます。

さて、今年度も6月中旬にプール開きをし、水泳学習を始めます。水泳は命を守る学習という側面もあります。毎日の学習や行事等を通して、子供たちが自分の得意なことにも少し苦手なことにも精一杯挑戦して、成長することを期待しています。蒸し暑く体調を崩しやすい季節になりますが、子供たちがますます元気に活動し、集中して学習に取り組めるようにご家庭での健康観察や励ましをよろしくお願いいたします。

地域の温かいお心に支えられて

津幡町在住の川幡さんから、今年も1年生に鉛筆立てを寄贈していただきました。お二人で来校され、「子供たちに差し上げてください」とのことで代表して受け取りました。鉛筆立ては、牛乳パックをリサイクルした川幡さんの手作りです。大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。

また、1学期が始まり2か月近く経ちますが、地域の見守り隊やPTAの方々のご協力のおかげで、子供たちは、毎日安心して登下校しております。学校前や駅前の交差点等、毎朝交通量がとても多いのですが、見守り隊や保護者の方がポイントごとに立ってくださっています。地域保護者の皆様には本当に有難く、感謝の思いでいっぱいです。この先は、気温が高く日差しの強い日もあるかと思いますが、引き続き温かく見守っていただけますようよろしくお願いいたします。



5年生 田植え体験

今年度も、地域の方のご厚意で学校の近くに実習田をお借りすることができました。何年も続けてこの事業にご協力していただき、学校として大変ありがたいです。

5月7日には、地域の方が田んぼの先生となってくださり、5年生が田植え体験をしました。初めて田んぼに入る児童がほとんどで、歓声を上げながら楽しく体験をしました。これから、稲の生長を観察したり、米づくりについて調べたりしていきます。学校のホームページにも写真とともに記事がありますので、お時間がありましたらぜひご覧ください。

2年生 野菜の苗植え

5月15日に、2年生は、中条地区くらし安心ネットワーク委員会の方々から、野菜の植え方を教えていただきました。



おかげで2年生は、自分で選んだ野菜の苗を、優しくポットから取り出し、鉢に植えることができました。大きく元気に育つよう、お世話を頑張っていきます。

2階職員室前の廊下から中庭の野菜を見ますと、ひとつひとつの野菜の葉が色濃くなり、丈もどんどん大きくなってきています。これからが楽しみです。